キャタピラー

	適用範囲	モデル	名	(329D L)	324E	324E L	329E	329E L
		適用号	機	TAY10001	JCZ10001	KTE10001	PTY10001	RDX10001
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	rpm	1980±50	1699±50	1699 ± 50	1600±50	1600±50
		ローアイドリング (冷 却 水 温)	rpm (℃)	950±50	900±50	900±50	900±50	900±50
		(作動油温)	(°C)	55±5	55±5	55±5	55±5	55±5
デ		弁 隙 間						
イ		吸気弁 隙間	mm	0.38	設定ナシ	設定ナシ (オート	設定ナシ	設定ナシ (オート
1		排気弁 隙間	mm	0.64	アジャス	アジャス	アジャス	アジャス
ゼ		[測 定 条 件]		(冷態時)	タ)	タ)	タ)	タ)
ル		圧縮圧力	kgf/cm ²	30				
工			MPa	2. 9	設定ナシ (コモンレール)	設定ナシ (コモンレール)	設定ナシ (コモンレール)	設定ナシ (コモンレール)
ン		(冷却水温) (回転速度)	(℃) (rpm)	50 300	(コモグレール)	(コモグレール)	(コモグレール)	(コモグレール)
ジ	燃料装置	噴射ノズルの	${\rm kgf/cm^2}$	作動圧力(61	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
ン		燃料噴射開始圧力	MPa	~286kgf)の 約6倍	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)	(コモンレール)
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	4.2~6.3	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
		測定位置・条件		オルタネータ プーリ間	(オート	(オート	(オート	(オート
		(kg とNの両方で 表記)	kg N	押し付け力 10kgf 98N	テンショ ナ)	テンショ ナ)	テンショ ナ)	テンショ ナ)
	走行性能	最高速度	秒	21. 5	19. 5	20. 6	20. 0	22. 2
		測定方法・条件		エンジンハイ アイドル	エンジンハイ アイドル	エンジンハイ アイドル	エンジンハイ アイドル	エンジンハイ アイドル
		側足刀伝・米什		走行モータ	走行モータ	走行モータ	走行モータ	走行モータ
				3 回空転	3 回空転	3 回空転	3 回空転	3 回空転
	履 帯 (クローラ	張り (たわみ量) ゴ	mm					
	ベルト)	ム 測定方法・条件		_	_	_	_	_
走		ル (図面番号表示)						
		T.						
行		張り (たわみ量)	mm	40~55	40~55	40~55	40~55	40~55
		測定方法・条件		アイドラ キャリア間	アイドラ キャリア間	アイドラ キャリア間	アイドラ キャリア間	アイドラ キャリア間
装		(図面番号表示)		図 NO. 12	⊠ NO. 12	図 NO. 12	⊠ NO. 12	⊠ NO. 12
		鉄 リンクピッチの伸び	mm	813	760	760	813	865
置		シ 測定方法・条件		4 リンクヒ゜ッチ	4 リンクヒ [°] ッチ	4 リンクヒ゜ッチ	4 リンクヒ [°] ッチ	4 リンクヒ [°] ッチ
		例足が伝・末针		1 1777 JJ	1 1777 J	1 1777 JJ	1 1777 Y	1 1777 Y
		覆板取付けボルト	Kgf·m	41.0±7.1	41.0±7.1	41.0±7.1	41.0±7.1	41.0±7.1
		締付けトルク	N·m	その後 120°±5°	その後 120°±5°	その後 120°±5°	その後 120°±5°	その後 120°±5°
		測定方法・条件	1 111	回転	回転	回転	回転	回転

336D	336D L	336E	336E L				
JER10001	NLS10001	CMR10001	TEG10001				
			検 査	基	準 値		
1980±50 800±50	1980±50 800±50	1600±50 950±50	1600±50 950±50				
55±5	55±5	55±5	55±5				
0.38 0.64 (冷態時)	0.38 0.64 (冷態時)	0.38 0.64 (冷態時)	0.38 0.64 (冷態時)				
設定ナシ (コモンレール)	設定ナシ (コモンレール)	設定ナシ (コモンレール)	設定ナシ (コモンレール)				
作動圧力(61 ~286kgf)の 約6倍	作動圧力(61 ~286kgf)の 約6倍	設定ナシ (コモンレール)	設定ナシ (コモンレール)				
4.2~6.3 オルタネータ プーリ間 押し付け力 10kgf 98N	4.2~6.3 オルタネータ プーリ間 押し付け力 10kgf 98N	設定ナシ (オート テンショ ナ)	設定ナシ (オート テンショ ナ)				
22.5 エンジンハイ アイドル 走行モータ 3 回空転	24.5 エンジンハイ アイドル 走行モータ 3 回空転	22.5 エンジンハイ アイドル 走行モータ 3 回空転	24.5 エンジンハイ アイドル 走行モータ 3 回空転				
_	_	_	_				
40~55 アイドラ キャリア間 図 NO. 12	40~55 アイドラ キャリア間 図 NO. 12	40~55 アイドラ キャリア間 図 NO. 12	40~55 アイドラ キャリア間 図 NO. 12				
865 4 リンクヒ [°] ッチ	865 4 リンクヒ [°] ッチ	865 4 リンクヒ [°] ッチ	865 4 リンクヒ [°] ッチ				
61.0±7.1 その後 120°±5° 回転	61.0±7.1 その後 120°±5° 回転	61.2±7.1 その後 120°±5° 回転	61.2±7.1 その後 120°±5° 回転				

キャタピラー

	適用範囲	モデル	名	329D L	324E	324E L	329E	329E L
		適用号	機	TAY10001	JCZ10001	KTE10001	PTY10001	RDX10001
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位		検 査	基	準 値	
	作業機自然降下	バケット先端位置 (測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm (分) (℃)	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ
作	シリンダー 自 然 伸 縮	ブームシリンダー アームシリンダー バケットシリンダー ブレードシリンダー	mm mm mm	24 25 25	24 25 25	24 25 25	24 25 25	24 25 25
		(測 定 時 間) (作 動 油 温) 作業装置姿勢	(分) (℃)	5 55±5	5 55±5	5 55±5	5 55±5	5 55±5
業		(図面番号表示) バケット荷重	kg	図 NO. 6~7 空荷	図 NO. 6~7 空荷	図 NO. 6~7 空荷	図 NO. 6~7 空荷	図 NO. 6~7 空荷
	作業機速度	ブ ー ム 伸ばし 縮め 作業装置姿勢	秒 秒	3.5±0.5 2.4±0.5	3.6±0.5 2.2±0.5	3.6±0.5 2.2±0.5	3.8±0.5 2.2±0.5	3.8±0.5 2.2±0.5
装		(図面番号表示) アームシリンダー伸ばし 縮 め 作業装置姿勢	秒 秒	図 NO. 9 3. 0±0. 5 2. 6±0. 5	図 NO. 9 3. 2±0. 5 2. 8±0. 5	図 NO. 9 3. 2±0. 5 2. 8±0. 5	図 NO. 9 3. 1±0. 5 2. 8±0. 5	図 NO. 9 3. 1±0. 5 2. 8±0. 5
置		(図面番号表示) バケットシリンダー伸ばし 縮 め 作業装置姿勢	秒 秒	図 NO. 10 3.9±0.5 2.3±0.5	図 NO. 10 4. 7±0. 5 2. 5±0. 5	図 NO. 10 4. 7±0. 5 2. 5±0. 5	図 NO. 10 4.6±0.5 2.4±0.5	図 NO. 10 4.6±0.5 2.4±0.5
		(図面番号表示) (作 動 油 温) 性能測定条件 (荷重・設定モード等)	(℃)	図 NO. 11 55±5 空荷、 ^イアイドル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ^イアイドル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ^イアイドル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ^イアイドル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイト゛ル
	油圧回路図設定圧力	主回路設定圧力	kgf/cm ²	357±5	357±5	357±5	357±5	357±5
油圧装置	W. Z. Z. Z.	性能測定条件 (設定モード等)	MPa	35.0±0.5	35.0±0.5	35.0±0.5	35.0±0.5	35.0±0.5 ^イアイドル
	旋回ベアリン グ取付けボル	アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	kgf•m	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2
動	トの締付け	インナーレース取付け	N·m	900±100	900±100	900±100	900±100	900±100
力		ボルトの締付けトルク	kgf·m	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2	91. 8±10. 2
伝	特回律净操序	油圧モーター取付けボ	N·m	900±100 24,5±4,1	900±100 24,5±4,1	900±100	900±100	900±100
達装	旋回減速機取 付けボルトの 締付け	ルトの締付けトルク	kgf·m N·m	24.5±4.1 240±40	24.5±4.1 240±40	24.5 ± 4.1 240 ± 40	24.5±4.1 240±40	24.5±4.1 240±40
置		旋回減速機取付けボル	kgf·m	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2
		トの締付けトルク	N·m	900±100	900±100	900±100	900±100	900±100

336D	336DL	336E	336EL				
JER10001	NLS10001	CMR10001	TEG10001				
			検 査	基	準 値	•	
設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ				
24 25 25	24 25 25	24 25 25	24 25 25				
5 55±5	5 55±5	5 55±5	5 55±5				
図 NO. 6~7 空荷	図 NO. 6~7 空荷	図 NO. 6~7 空荷	図 NO. 6~7 空荷				
3.8±0.5 2.6±0.5	3.8±0.5 2.6±0.5	4.3±0.5 2.4±0.5	4.3±0.5 2.4±0.5				
図 NO. 9 3. 4±0. 5 2. 8±0. 5	図 NO. 9 3. 4±0. 5 2. 8±0. 5	図 NO. 9 3. 5±0. 5 3. 1±0. 5	図 NO. 9 3. 5±0. 5 3. 1±0. 5				
図 NO. 10 4. 4±0. 5 2. 5±0. 5	図 NO. 10 4. 4±0. 5 2. 5±0. 5	図 NO. 10 4.8±0.5 2.5±0.5	図 NO. 10 4.8±0.5 2.5±0.5				
図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイト・ル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイドル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイドル	図 NO. 11 55±5 空荷、 ハイアイドル				
357±5	357±5	357±5	357±5				
35.0±0.5	35.0±0.5	35.0±0.5	35.0±0.5				
ハイアイト・ル	ハイアイト゛ル	ハイアイト・ル	ハイアイト・ル				
91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2				
900 ± 100	900±100	900±100	900±100				
91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2				
900±100	900±100	900±100	900±100				
24.5±4.1	24.5±4.1	24.5±4.1	24.5±4.1				
240 ± 40	240±40	240±40	240±40				
91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2	91.8±10.2				
900±100	900±100	900±100	900±100				

キャタピラー

307D∼325D (L)	⊠ N0
シリンダ自然伸縮	図 NO. 6
 測定条件 1. 機体を平坦地におき図のようにする。 2. バケットは空にする。 3. エンジンを停止する。 測定要領	BOOM, STICK AND BUCKET CYLINDER TEST 3122216
作業機速度(プームシリンダ)	図 NO. 7
測定要領 バケットシリンダ縮みエンド、スティックシリンダ縮みエンドにして 伸び試験・・・・バケット接地状態からブームシリンダ 伸びエンド迄の作動時間を測定する。 縮み試験・・・・ブームシリンダ伸びエンドからバケット接地迄の作動時間を測定する。	EXTENSION TEST BOOM CYLINDER TEST C48510P1
作業機速度(アームシリンダ)	図 NO. 8
測定要領 プームの上面を平行に保つ。バケットシリンダ伸びエンドにして 伸び試験・・・・・スティックシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定する。 縮み試験・・・・スティックシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定する。	EXTENSION RETRACTION TEST TEST CASS11P1

307D∼325D (L)	⊠ N0
作業機速度(バケットシリンダ)	図 NO. 9
測定要領 ブームの上面を地面に平行にし、スティックを垂直に立てる。 伸び試験・・・・バケットシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定する。 縮み試験・・・・バケットシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定する。	EXTENSION PROPERTY OF THE STATE
履帯張り	⊠ NO. 1 O
 アイドラからキャリアローラまで届く角材をトラックの上に置くこと。 トラックシュー上面と角材下面の最大たるみ量が40~50mmあればトラックは正しく調整されている。尚、張り調整時はトラック周りに付着している土砂などを取り除いてから実施しすること。 	325529

-70-